



イラクの現実を報告する  
イサーム・ラシードさん

## イラクの子ども支援へ

いまだに内戦やテロなど戦争状態が続くイラク情勢のなかで、劣化ウラン弾などによるイラク市民への被害が深刻です。とくに、子どもへの影響が悲惨です。

5月30日、大阪市内で、「イラクの子どもを支援するおおさか市民基金」が結成されました。この基金は、①劣化ウラン弾による戦争被害を受けたイラクの子どもを支援する

## 「おおさか市民基金」

### を立ち上げ

こと、②非人道兵器の廃止をもとめ、被害の実態を広く伝えること、③日本がこうした戦争に協力することとに反対し、平和をもとめる世論を広げること、を掲げています。

# 暑さと悪政の 攻撃に負けない

集会の最後に、谷真琴・大阪自治労連委員長が「全労連に結集して全国キャラバン行動、議会意見書運動、国会に向けたさまざまな運動を展開してきたが、行革推進法、市場化テスト法がこの国会で強行成立した。住民とともに、住民の中で、憲法、暮らし、

地方自治を守るこの夏季闘争を全力でとりくもう」と呼びかけました。

また、行動提起では、「給与構造本見直しのため、給与と構造本見直しのたたかいでは、引き続き自治体への持込に反対し、査定昇給制度などを打ち込ませないととりくみや、改善要求を掲げて奮闘し

大阪自治労連役員によるコント「小さな村の大きなドラマ」

## 6.9大阪自治労連夏季闘争決起集会



## 6.9大阪自治労連夏季闘争決起集会



保育部会のみなさん

# 2006年夏季闘争を

# 大阪自治労連が 決起集会

大阪自治労連は6月9日、大阪市内で数年ぶりに夏季闘争での決起集会をひらきました。その集会名も「いっしょこらでがんばろかい！見せたるで浪速のど根性16・9夏季闘争決起集会」。府下の各単組から160人が参加しました。

集会では、はじめに守口市職労による「憲法九条を守る電子紙芝居」の実演。守口市職労は九条を守るとりくみにパソコンを使ったビジュアル宣伝をすすめています。

続いて壇上にあがったのは、「イラクの子どもを救う会」の招きで来日したイラク人ジャーナリストのイサーム・ラシードさん。ラシードさんは「ファルージャでは女性や子ども、多くの市民が犠牲になっている。病院も薬品もないなかで、多くの市民が亡くなっていく。こうした現実を直視すれば、戦争はダメということが実感する。どうして日本がイラクに自衛隊をお

くのか理解できない。イラクの現実の姿を世界の人に知ってもらい、平和のメッセージを伝えていきたい」と訴えました。

## 今月のキーワード

行革関連5法案

集めてください

広げてください

## 賃下げとなる「官民比較方法の見直し」に関する署名

人事院は、多くの公務員労働者の反対の声を押し切って、今年の民間給与実態調査で、これまでの「100人以上」から「50人以上」の小規模企業を調査対象としました。この調査結果を勧告の作業に反映させるかどうかは今後の検討にしていますが、まさに、総人件費の大幅削減をねらう政府や「経済財政諮問会議」の要請に沿ったごきです。

官民比較のありかたは、民間準拠の原則による人事院勧告の根幹の部分で

す。とりわけ、企業の比較規模の「50人以上」にすることは、企業規模の引き下げによって、賃金水準の大幅な引き下げにもつながります。

この2006年夏季闘争で、自治労連は①100人未満の比較対象企業の調査結果を勧告に反映させないこと、②生活改善のため給与の引き上げ・改善を行うことを求めて「賃下げとなる「官民比較方法の見直し」に関する署名」を広げ、全国で20万人分の署名を集めようと、とりくみをすすめています。

今国会で、5月26日に参議院本会議で可決されたのが「行革関連5法案」。「行政改革推進法」「市場化テスト法」など。自治労連の駒場忠親委員長が法案反対の立場から、参議院の委員会では参考人として意見の陳述を行いました。「行政改革推進法」は公務員の人員削減を法律で押しつけるもの。「市場化テスト法」は公務員公共業務を民間ゆだね、財界のために50兆円といわれるビッグなビジネスチャンスをつくりだそうとするもの。

## 均等待遇キャンペーンで キャッチコピー&キャラクターを 募集しています

ちょっと考えて  
みんなが

「均等待遇」って？労働組合の中ではこの数年よく耳にするコトバですが、世間一般ではまだまだ浸透していないのでは？年末の「流行語大賞」並みに広げたいという思いから、「均等待遇キャンペーン」を呼びかけています。

「おんなじ仕事してんねんから差別せん」といって「賃金、権利、均等に扱って！」「パートも非常勤もおんなじ人間」世界ではあたりまえのこの考え方を大阪から広めるキャンペーンを呼びかけます。

### ●キャッチコピー部門

1990年代の「労働時間短縮キャンペーン」では「5時からカエル」「5時からパパとボクの時間」などのわかりやすくインパクトのあるコピーが生まれました。こんな感じのコピーを。

### ●キャラクター部門

たとえば「着けた〜い、カッコいい」というような缶バッジなど。

期間  
6月9日～  
7月31日

採用作品には  
豪華副賞を贈呈

## 今月のキーワード

共謀罪

「組織犯罪処罰法案」に新設され、犯罪を実行しなくても、相談・合意したというだけで犯罪となり、思想や内心の自由をも処罰の対象とするものです。しかも対象団体は限定されておらず、一般の会社、労働組合、宗教団体など幅広い団体の活動が適用対象になる現代版「治安維持法」。労働界はもちろん、日弁連をはじめ日本ベンクラブなど法曹界、言論界などからも強い反対の世論がおきています。